



「不屈」NO.602 付録
石川版 NO. 359
2024年8月15日
治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟石川県本部
〒920-0856
石川県金沢市昭和町 5-13
石川県平和と労働会館 2F
国民救援会石川県本部 気付
TEL・FAX 076-262-3447

第41回総会 活動報告と運動方針(案) 2025年、治安維持法100周年へむけて「学習 しさらに行動する同盟」へ

9月8日(日) 13時30分
近江町交流プラザ4F 集会室
記念講演 小松実・中央本部副会長

■活動に関する情勢

(はじめに)

能登半島地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

来年は治安維持法が交付されてから100年になります。私たち治安維持法同盟は「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」ことを目標に運動を継続・発展させてきました。石川県同盟は、「映画千代子」の上映運動を取り組み、念願の200名会員を達成し維持しています。昨年には奥能登支部が結成されましたが、県内各地での支部建設をめざし、苦難を乗り越え更に前進してゆきたいと思えます。

(世界をめぐる情勢)

2022年2月に開始されたロシアのウクライナへの侵略戦争は、破壊と殺戮が連日続いており、終息の目途もありません。昨年(2023年)の10月にはじまったイスラエルのパレスティナ・ガザ地区への無差別攻撃は、子どもたちや女性・老人・市民を殺戮しています。これはジュノサイド(集団殺戮)であり許すことのできない戦争犯罪です。

国際紛争は戦争ではなく対話によって解決することを全世界の共通認識とし、一日も早く戦争終結を実現させたいものです。

(日本の情勢)

自民・公明党政権は、「集団的自衛権行使を容認する閣議決定」、「安保法制・戦争法」、「共謀罪法」、「特定秘密保護法」、「重要土地利用規制法」等々、弾圧法を立て続けに成立させました。そしていま、「重要経済秘密保護法」を成立させ、秘密保護法を経済分野まで拡大させました。

「戦争する国」のための治安維持法体制の整備が進められ、軍事力を一気に拡大し、平和国家から軍事国家への転換が急速に進まっています。

岸田内閣は、安保3文書に基づき陸・海・空の自衛隊を米軍と一元的に指揮する統合戦司令部を設置し、日米軍事同盟は新たな段階に入りました。台湾有事を想定し沖縄・与那国島、宮古、石垣島等、南西諸島に自衛隊のミサイル基地が建設され東アジアでの戦争の危機は強まっています。戦争の危機を外交の力で解決するのではなく、軍事力の増強・日米軍事同盟強化によって対応しようとしており、大変危険な情勢です。

自民党は、裏金問題で国民の大きな怒りを受けています。来るべき総選挙では立憲野党の連合政権を樹立し、戦争への道を阻止しなければなりません。

(私たちの課題)

改憲問題では、野党と市民・労働者による全国連帯の力で、明文改憲は阻止してきました。岸田首相は任期中の改憲をめざすことを諦めてはいません。野党連合政権を樹立し、岸田自公政権を退陣させ、支配勢力が企む改憲の野望を打ち砕かなくてはなりません。

再び戦争と暗黒の政治を許すな！をスローガンとする治安維持法国同盟は、野党連合政権を実現し、これを支える統一戦線の一翼を担う活動を推し進めたいと思います。

■本総会の任務

第1は「戦争する国づくり」を推し進める岸田・自公政権の改憲策動を阻止し、「市民と野党の共同」の発展に貢献する活動方針を確立すること。

第2は前総会以降の諸活動を総括し、その教訓から「さらに行動する同盟」への方針を具体化すること。

第3は、第1・第2の方針を実践する活動の先頭に立つ役員体制を確立すること。

■活動の総括と方針

1、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する活動

(国会請願署名活動)

侵略戦争と植民地支配を肯定・美化する歴史認識を持つ政権では、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償どころか韓国や北東アジアの諸国との真の友好は望めません。緊張を深めるだけです。前年次(5月末まで)の「治安維持法犠牲者への国家賠償法(仮称)」の制定を求める国会請願個人署名は558筆、団体署名は4筆でした。個人署名集約数が目標の18.6%に留まり

ました。

この6月から、また新たな年次の署名活動に入りました。3,000筆の達成をめざしてがんばりましょう。

2、地方議会への陳情・請願活動

石川県内議会への請願採択は6議会(内灘町・津幡町・かほく市・羽咋市・野々市市)となつていきます。困難を克服し粘り強く継続して活動を進めることとし、まず議員、職員、住民に理解していただく活動を継続して行います。

3、治安維持法犠牲者を顕彰する活動

①治安維持法犠牲者の発掘調査、名簿の作成

「再び戦争と暗黒政治を許さないために―石川の闘いをたどる」を発行したが、引き続き整理してゆく。

②犠牲者の顕彰・記念集会の成功を

谷口善太郎碑前祭(6月8日)、谷善没後50年企画・小説集出版・朗読劇「綿」公演(7月27-28日)、鶴彬卯辰山句碑・つつじ祭(6月13日)、鶴彬没後85年記念・佐高信講演会(昨年9月3日)、鶴彬墓・碑前祭(9月14日)、石川解放運動戦士合葬追悼集会(9月23日)。

4、同盟諸活動の学習・交流・親睦・連帯強化の活動

①ブロック交流会の成功を

今年は、10月8-9日に新潟県上越市で開催することが、7月12日開催された北陸信越ブロック各県本部会長・事務局長会議で確認されました。この集会は学習や活動の交流・親睦を目的にしたもので、石川からも多数の参加で各県・各地の先進的な活動から学びましょう。

② 不屈ツアー

県内の犠牲者及び関係者の墓参を兼ねた学習と懇親ツアーを行ってきたが、昨年は9月24日伊藤千代子の命日にあわせた長野県諏訪市での碑前祭へのツアーを計画実施し、9名の参加がありました。

③ 優れた映画の上映、普及活動

「母―小林多喜二の母物語」、E.T.V「自由はこうして奪われた―治安維持法10万人の記録」、DVD「燃やし続けた炎」、「種まく人々」、「鶴彬―心の軌跡」などで学習し、会員拡大にも活用しましょう。

④ 同盟内外での学習活動の強化

複雑な社会ですが、国民が声をあげれば政治を変えることができます。学習をし、正確な情報で「市民と野党の共同」を進めれば社会は変えられる。「知は力」です。

今年作成された学習テキスト「治安維持法とは何か―戦争する国にしないために―」を普及し学習する運動に取り組みます。

5、多様な宣伝活動

母親連絡会の「赤紙」配りと一緒に行う恒例宣伝行動など、いろいろな場面での宣伝活動に取り組みましょう

6、機関紙「不屈」・「不屈石川版」、「治安維持法と現代」誌などの発行・普及活動

全国機関紙「不屈」と「治安維持法と現代」誌の普及に努めます。

「不屈」石川版の充実と毎月発行に努めます。

「不屈」石川版の編集に苦勞しています。会員は編集部からの依頼に積極的に応じていただき、部外の方にもお願いすること

とします。

7、組織強化活動(会員拡大と県本部の強化、支部・女性部・青年部の確立)

① 会員拡大をはかる

2万人同盟建設をめざす全国第41回大会(2024年6月19〜20日)は、前大会比188人(1.2%)増の1万6585人を達成し、結成来過去最高の峰に到達しました。

石川県同盟は、尾西会長が全国表彰をうけるなどの奮闘で、前大会比60名(15.2%)増の218名の会員数となりました。

一昨年の「映画千代子」上映運動の映画鑑賞者への働きかけ等を通じて、念願の200名会員を昨年突破し、維持しています。

また、賛助会員は石川民医連など6団体となっています。

会員拡大は意識的な取り組みが必要です。集中して取り組みましょう。

② 支部建設をめざす

同盟を社会に認知していただくためには、旺盛な署名活動と同時に地域に密着した陣地が必要です。県内各地域(自治体)での支部建設をめざします。昨年10月には奥能登支部が結成され、今年1月の能登半島地震のときには大きな支えとなりました。

③ 女性部を強化し同盟運動の発展を

ジェンダー平等が叫ばれてから久しいですが、まだまだです。両性の平等のためにも女性会員を増やし、女性部の強化をはかります。昨年10月29〜30日の全国女性交流集会には2名が参加しました。今年も11月10〜11日、愛知県蒲郡で開

催されますが、昨年以上の参加を目指します。また、日本母親大会（9月28日・和歌山県）にも連帯していきましょう。

④青年部をつくる

青年層への働きかけは、同盟の世代継承にとって重要な課題です。青年会員の獲得を意識的に取り組みます。

8、反戦平和をめざす諸団体との協力共同

同盟組織活動をすすめるためには、反戦・平和を掲げる諸団体との協力共同が欠かせません。引き続き諸活動に参加してゆきます。

■旺盛な同盟活動を支える財政基盤の確立を

（会計議案は別紙）

財政活動は、同盟活動の重要な基本の一つです。会費の100%納入を目指す。新年度の当初から会費集めに努める。書籍やDVDの販売など財政活動を支援する。

■役員選出（候補者（案）は別紙）

治安維持法国賠同盟石川県本部方針実践の先頭に立つ役員体制を確立する。

役員（会長、副会長、事務局長、事務局次長、幹事、監事、相談役）

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

1. 治安維持法体制の復活に反対する
2. 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
3. 国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

国会請願署名(6/1~)

2023年8月1日現在
 個人署名 目標 3000筆
 到達 35筆
 団体署名 目標 250筆
 到達 0筆

会員数(8月1日現在)

217名(入0・退1)

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟 石川県本部

講演会と第41回総会

ふたたび戦争と暗黒政治を許すな

いまにつながる治安維持法体制に決着を

講演 **小松 実 氏**

治安維持法同盟中央本部副会長



(略歴)

1948年横須賀市生まれ。法政大学文学部卒業。
千葉市の中学校教員を経て
1987年から日本共産党千葉県議会議員7期。
2017年から治安維持法同盟千葉県本部会長
2019年から治安維持法同盟中央本部副会長

◆ 日時 : **9月 8日(日)**

13:30~15:00

開会・講演

15:10~16:00

総会・議事

◆ 会場 : **近江町交流プラザ 4F 集会室**

金沢市青草町88番地

076-260-6722

講演会と総会ご参加への呼びかけ

いま、軍備拡大と弾圧法規が整備されています。

こうした「新しい戦前」といわれるような「戦争する国」づくりのルーツはいったいどこにあるのでしょうか。

治安維持法体制が清算されないまま、戦後の日本の政治がスタートしてきたことにそのルーツがあります。

戦争と弾圧の中心人物が復権し、この国の中枢に居座り続け何をしてきたのか。またとない講演です。さそいあってご参加くださいませ。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 石川県本部会長 尾西洋子
連絡先 090-2036-2877

聯合製成 雙向來往通商口岸

金銀同存 金銀同

金銀同存 金銀同

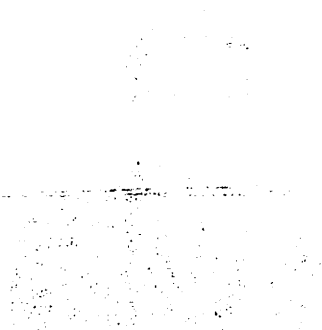
金銀同存 金銀同

五美 游小 金銀

金銀同存 金銀同

(附錄)

金銀同存 金銀同
金銀同存 金銀同
金銀同存 金銀同
金銀同存 金銀同
金銀同存 金銀同



(四) 服務 金銀 金銀

金銀同存

金銀同存

金銀同存

金銀同存

金銀同存 金銀同存 金銀同存

金銀同存

金銀同存

金銀同存 金銀同存

金銀同存 金銀同存 金銀同存 金銀同存 金銀同存

金銀同存 金銀同存 金銀同存 金銀同存 金銀同存

金銀同存 金銀同存 金銀同存 金銀同存 金銀同存